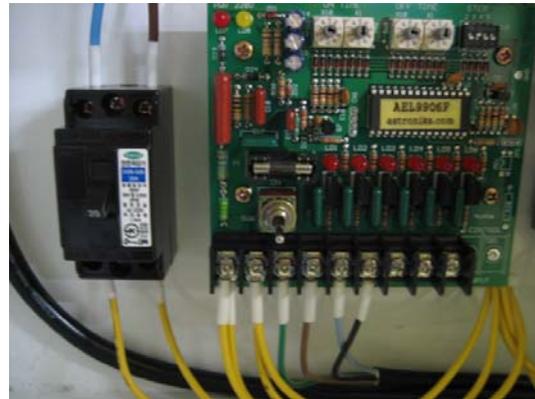
# ノンスモークフィルター取扱説明書

FUJI ROYAL

# 本体操作側内部

フィルター上部

電気関係

フィルター

受け皿

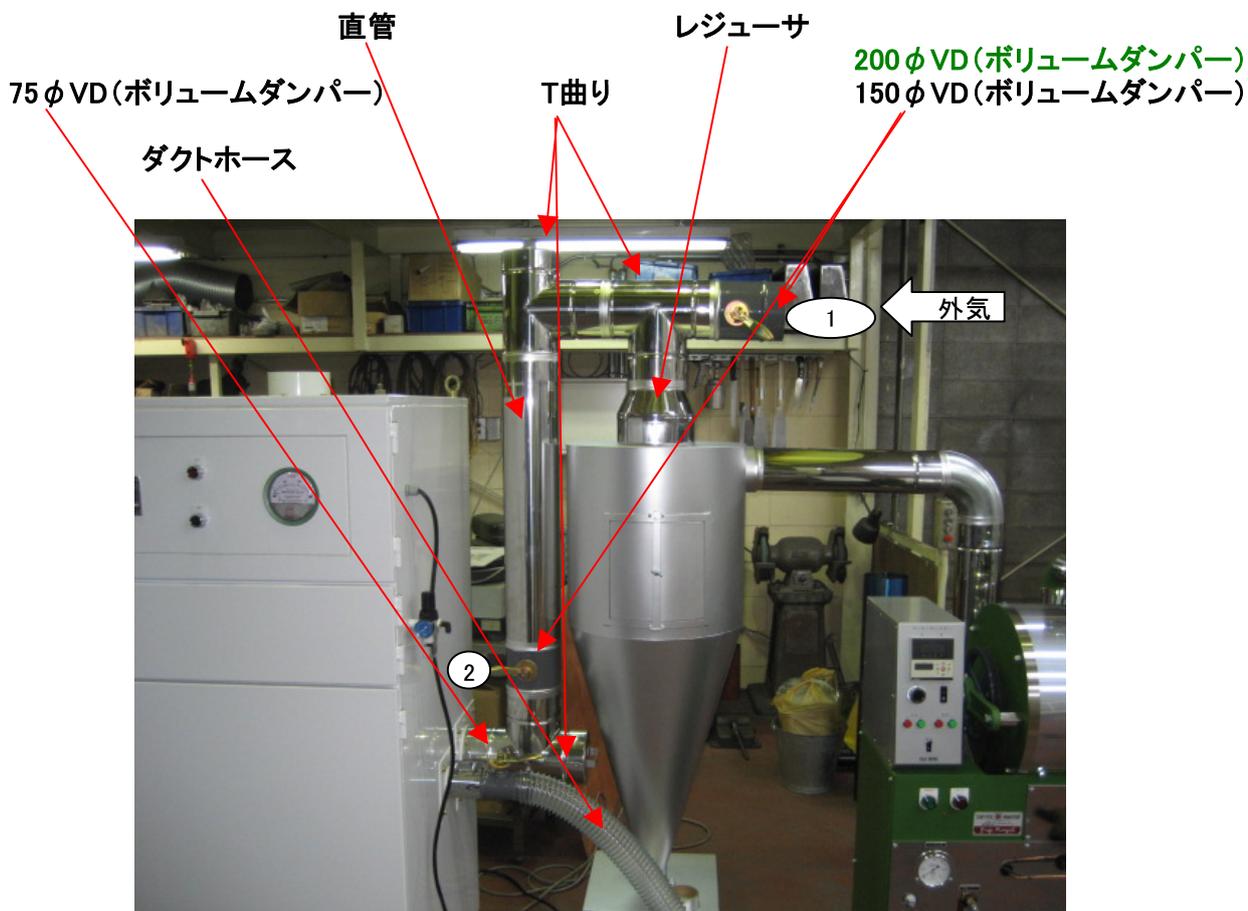
3,5kg用は黒色
10kg用は緑色　にて表示しています

外寸■ 800×800×1650mm
870×960×2200mm
(W×D×H)
電気■ 単相200V(容量0.75Kw)
単相200V(容量1.5Kw)
排気風量■ 10㎥/min
25㎥/min
排気ダクト■ 径140φ
径200φ

●小型エアーコンプレッサーが必要です。
●電気対応のみとなっております。

# 設置

ロースターからサイクロンのダクトを接続された状態でサイクロンから後に
ノンスモークフィルターを設置します。

設置例

**レジューサ**・・・・・・・　サイクロンとノンスモークフィルターの接続口径を合わせる部品

**T曲り**・・・・・・・・・・・　掃除口付きの曲り

**150φVD①**・・・・・・　T曲りの掃除口を外し接続、屋内の空気を取入れノンスモークフィルターに
**200φVD①**　　　　　入る排気温度を下げる部品

**150φVD②**・・・・・・　ノンスモークフィルターに入る排気の量を調整する部品
**200φVD②**

**75φVD**・・・・・・・・・　ノンスモークフィルターに吸着させる粉を吸引させる時のみ開

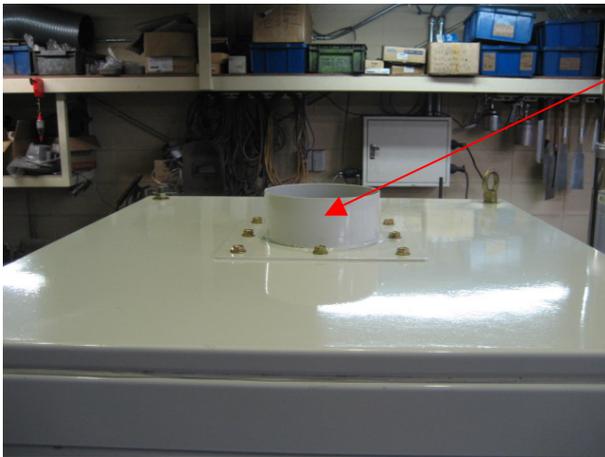
**ダクトホース**・・・・・・　粉を吸着させる時に使用するのホース

サイクロンからノンスモークフィルターまでの設置は150(200)φのダクトで接続し、
サイクロン立上りからT曲りの片方に150（200）φVD、
ノンスモークフィルター吸気口大に150（200）φVDを接続します。

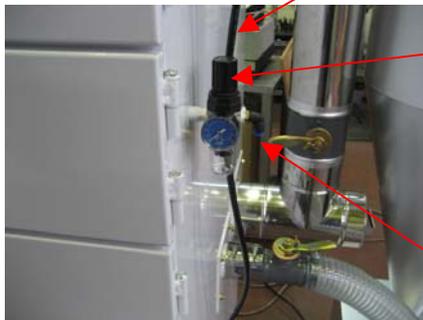
75φVDをノンスモークフィルター吸気口小に接続後ダクトホースを取付けします。

吸気口大、吸気口小は本機操作側の左右どちらにでも取付け可能です。

左側面

フタを左右入替え可能

ノンスモークフィルター排気口150(200)φ

150φ (200)の煙突で屋外に排気を出します。

電源コード(単相200V)を電源(室内のコンセントもしくはブレーカー)に接続します。

レギュレーター・・・・コンプレッサーのエアーを減圧します。
1～4Mpasに設定

ダイヤルツマミを持上げて左右に回し圧力を調整します。

エアーチューブを接続します。

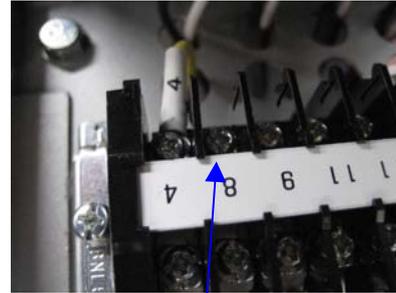
# ノンスモークリレー結線

FUJI　ROYAL3～10kg焙煎機のみ有効

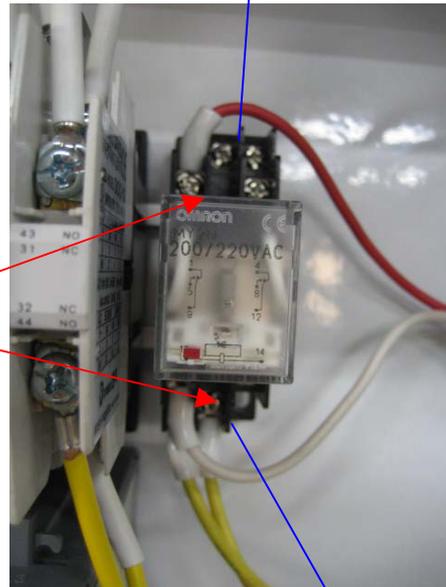
1.焙煎機の操作盤内の　４　の線を端子台から抜き取る

2.焙煎機後部のフタを開けて非常消化ボタンの　４　の線を抜き取る

この線

操作盤内

3.ノンスモークフィルターから出ている線を操作盤内の
先ほど抜いた4の端子台へ入れる

4.ノンスモークフィルターから出ているもう1本の線を
先ほど抜いた非常消化ボタンの4の入っていた箇所に
入れる
ノンスモークフィルターの
電源線と間違わないように注意してください。

ノンスモークフィルター内の図

焙煎機にノンスモークフィルターを接続するとき、
ノンスモークフィルターが作動していない状態で
焙煎機のバーナーを点火しますと焙煎機の排気が
効かない為に不完全燃焼や立ち消えのおそれがあります。
(煙突が詰まった状態と同じです。)

フジローヤル製の焙煎機(現行型)に接続する場合
ノンスモークフィルターが作動していない時に、バーナーを
点火できないように安全装置として上記の作業を行なって
ください。

焙煎機非常消化ボタンスイッチ
本体後部内

# 初期運転

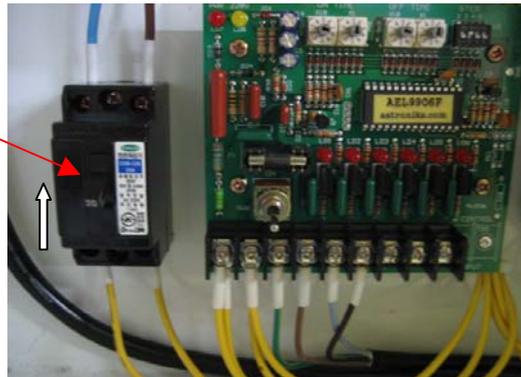
## 粉を吸引させる

操作パネルフタを開ける

ボタンを押し左にひねる

メインブレーカー

上に持上げてON

本機の電源ブレーカー
本機を作動させる時にON
使用後はOFF

150（200）φ吸気口VDを閉

75φVDを開

操作側面の扉は閉めておきます。
粉をまんべんなくフィルターに付着させる為

ONボタンで起動

粉をダクトホース吸気口に吸わせます。
注意
粉は少しずつ時間をかけて吸わせていきます。

2kg～2.5kg（3～3.5kg）が目安
粉の交換のコストは約2,000（3,000）円です。
1回の焙煎のコストは約60（90）円です。

指先を左右に振り粉を少しずつ舞うように

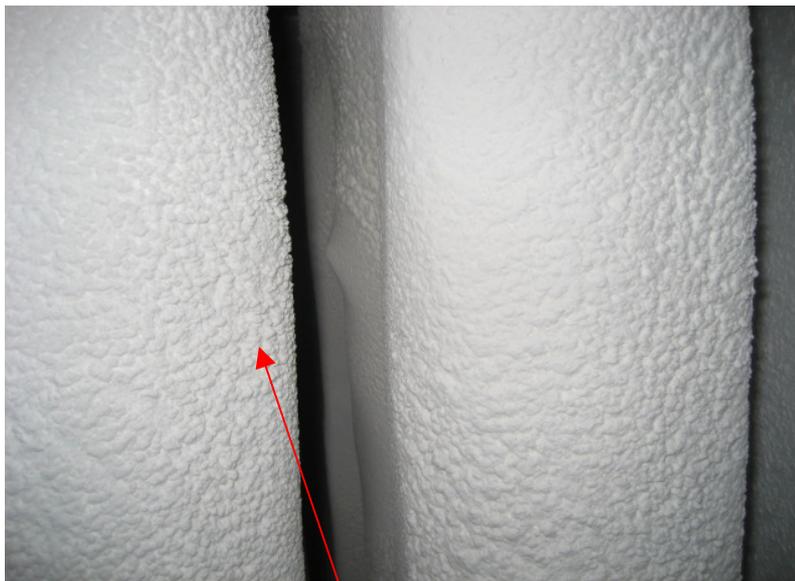
ゆっくりと時間をかけて吸引

すべて吸わせたらOFFボタンで停止
させます。

※注意　消煙パウダーは少しずつ
時間をかけて吸わせて下さい。
この時ノンスモーク横の
VDダンパーは全閉にして
下さい。

ロックピンを押しながら
手前に起こす

粉が受け皿に溜まっています。

粉をダクトホースより吸引させフタを開けた状態

フィルターの状態

この粉の層が煙を吸着してくれます。
10mm位の層になりますが触ったり衝撃を与えると
剥がれます。剥がれた部分から煙が漏れますので
注意してください。

次に受け皿に溜まっている粉をフィルターに吸着させる作業をします。

フタを閉め受け皿を開けます。

受皿を引き出し、
溜まっている粉を手前に寄せ、
操作パネルの粉吸ロボタン(ON)を押します。

※この時はノンスモーク横のVDダンパーと
ダクトホースダンパーを全閉にしてから
行ってください。

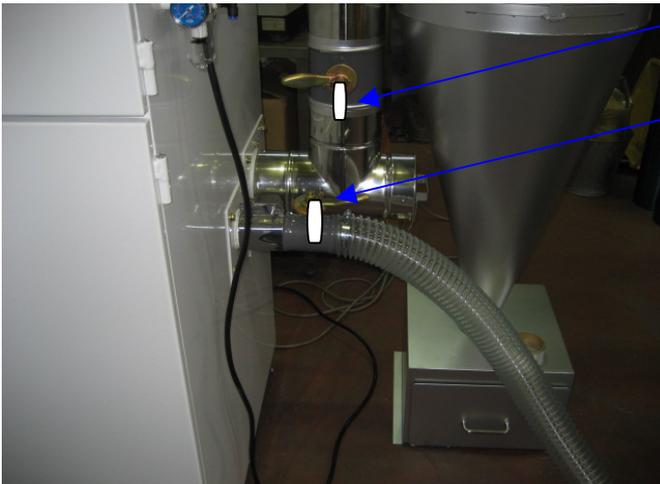
フタを閉めて行きます。

吸引力が強いので指を挟まないように注意

受け皿に粉が無くなるまで2～5回この作業を
行なってください。

圧力ゲージがあがっていることを確認

これで初期運転(粉の吸引)は終了です。

# 焙煎

ノンスモークフィルター吸気側VD全開

ダクトホース吸気側全閉　必ず

ONボタンで起動この状態で焙煎状態

になります。

外気を吸引

初めての時は全開から初めます。

ロースターで焙煎を開始

煙が出てくるようなら少し閉。焙煎の進行

を見ながら煙が出てきたら閉めます

（閉めるほど良く吸引しますがロースターの排気ダンパーに影響がでますので焙煎にも注意してください。）

FUJI　ROYALロースターの場合は少し閉める程度ですが設置条件や焙煎により閉める度合いは変わります。

他メイカーのロースターや超小型のロースター使用時ノンスモークフィルターの吸引力が強すぎる時にはノンスモークフィルター吸気側VDを少し開けることで解消されます。

焙煎が終了しVDの位置が決りましたらVDの固定ネジを締めて終了です。
1回の焙煎に掛かる電気代は約2(3)円

ロースターはガス機器（室内自然吸気、強制排気FE式と同じ原理）でバーナーの燃焼には空気（酸素）が必要

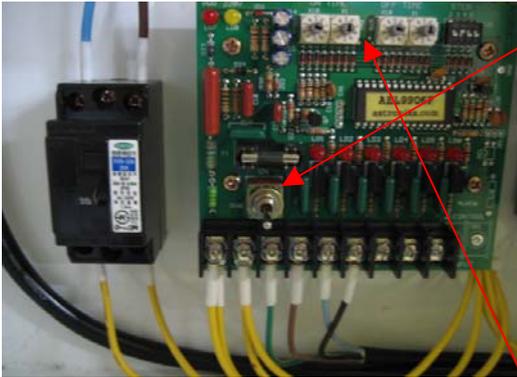
どのような燃焼機器もフレッシュな空気が必要です。

ノンスモークフィルターは焙煎による煙（高温）と室内の空気を混合して排気温度を

下げ室外に排出している為、吸気口もしくは窓を少し開けるなどのフレッシュな空気

が必要です。

# 粉の交換

外気を吸引させるVDより煙が頻繁に出だした時や室外に出した煙突より煙が出だした時は
粉の交換時期です。その時の圧力ゲージの数値を記録しておいてください。粉に煙の粒子が
詰まってくると圧力ゲージが上がってきますので目安になります。
ノンスモークフィルターOFFボタンを押し停止、ロースター停止状態で行ないます。
通常の焙煎で約30回から40回使用できますが、粉に油分も吸着しますので
過剰に使用しますと粉が払い落としにくくなります。粉の交換は30回を目安にしてください。

コンプレッサーを起動させてください。

エアーノッカースイッチON

各フィルターに振動を与えて粉を受け皿に落とします

5分～10分で完了スイッチOFF
（コンプレッサーの能力による）
ドン、ドンと叩くような振動をさせて粉を落とします。

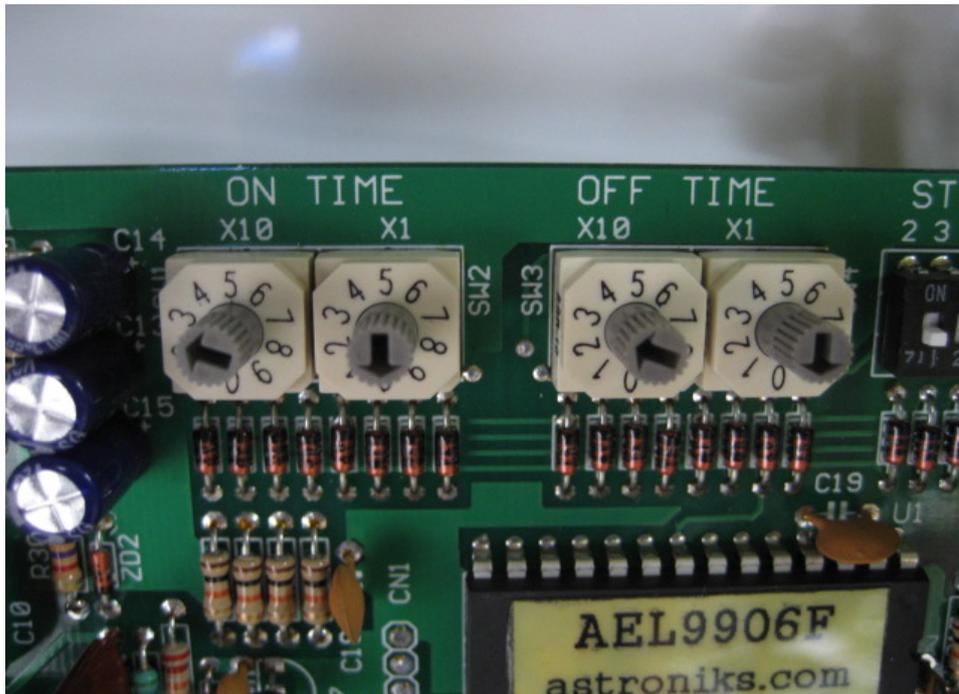
エアーノッカータイマー
エアーノッカーを制御する
詳細は次のページに記載

取れきれていない粉を払い落とすか掃除機で取る

受け皿に取ります。
粉は無害なのでそのまま家庭ゴミで捨てます。
排水に流したりしないこと排水が詰まるおそれが
あります。

4～7ページの要領で粉を吸引してください。

吸引後の焙煎で煙が取れきれない場合は粉の吸引が早くフィルターにまんべんなく粉が吸着
出来ていないか、フィルターの粉の層が一部剥がれ落ちているもしくは粉の層のひび割れが
考えられます、粉を追加して吸引させるか払い落として再度吸着させてください。

# エアーノッカータイマー

ONタイマー・・・・エアーノッカーのON作動時間

OFFタイマー・・・エアーノッカーのOFF時間

X10は10秒単位　　X1は1秒単位　　　X10が1でX1が1の時は11秒

ONタイマー・・・・長くするとエアーが出ている時間が長くなる

OFFタイマー・・・長くするとドン、ドンと叩く間隔が短くなる

コンプレッサーの容量が小さいときはONタイマーは小さくし、OFFタイマーは長くとる。

例　　　ONタイマー・・・・X10は0　X1は1　　1秒
　　　　OFFタイマー・・・x10は1　X1は1　　11秒
　　　　レギュレーター・・・1　（2ページ下写真）

コンプレッサーの容量が大きい時はONタイマーは長くし、OFFタイマーは短くとる。

例　　　ONタイマー・・・・X10は0　X1は3　　3秒
　　　　OFFタイマー・・・x10は0　X1は5　　5秒
　　　　レギュレーター・・・2～4

# フィルターの交換

粉を取替えてもVDから出る煙が止まらない時フィルターに破れや穴が開いた時は交換する。

## 交換手順

本機中断のフタを開き金属のガイド筒を
持上げて抜き取ります。

すべて抜き取る

フィルターを下段フタを開けて下側に
引抜きます。しっかり入っているので
斜めに上から押してください。

中に入っている金属の筒を抜きます。

抜き取った金属の筒を新しいフィルター
に入れます。

下からはめて金属のガイド筒を
上に乗せて終了です。

フィルターは水洗いしないでください。

# オプション　消臭フィルター

ノンスモークフィルターでは煙は取れますが臭いは残ります、専用の活性炭フィルターを

使用することによってコーヒーの刺激臭を取除くことが出来ます。

本機中段のフィルター金属ガイド筒

スライドさせてガイド筒がすべて隠れるように乗せるだけです。

## 保証書

本書は「無料修理規定」に基づき、無料修理をすることをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示の上、
お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

| 品　　名 | ノンスモークフィルター |
| --- | --- |
| マシーンNo | |
| 保証対象部分 | 本　　体 |
| 保証期間 | お買い上げ日より1年間 |
| お買い上げ日 | 平成　　年　　月　　日 |
| お客様ご芳名 | 様 |
| お客様ご住所 | |
| ＜販売店＞ | |

（販売店名およびお買い上げ日の記入なきものは無効です。）

### 無料修理規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障し、保証期間内である場合には、無料修理致します。
2. 無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示のうえ、ご依頼ください。
3. 保証期間内でも以下の場合は有料となります。
   ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による、故障および損傷の場合。
   ② お買い上げ後の落下などによる故障および損傷の場合。
   ③ 火災、地震、水害・落雷、その他の天災地変、および公害や異常気圧による、故障および損傷の場合。
   ④ 本書の提示がない場合。
   ⑤ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
4. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。

**株式会社　富士珈機**
〒556-0023
大阪市浪速区稲荷1丁目8－29
TEL　06-6568-0440